



2026 年 8 月 14 日

各 位

会社名: 株 式 会 社 ス タ メ ン
(コード: 4019 東証グロース)
代表者名: 代表取締役社長執行役員 CEO 大西 泰平
問合せ先: IR 担当
(ir@stmn.co.jp)

通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

2026 年 8 月 14 日開催の取締役会において、2026 年 2 月 13 日に公表した 2026 年 12 月期通期の連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026 年 12 月期連結業績予想数値の修正 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,155	百万円 400	百万円 406	百万円 266	円 銭 30.36
今回修正予想 (B)	5,155	550	558	366	41.68
増 減 額 (B－A)	0	150	152	100	
増 減 率 (%)	0.0	37.5	37.4	37.6	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 12 月期)	3,817	291	298	208	23.74

2. 修正の理由

売上高につきましては、広告宣伝及び展示会出展等のマーケティング活動や、金融機関をはじめとする多様なパートナー企業との連携等に注力した結果、主力サービスである「TUNAG」の新規顧客導入が着実に伸長しており、概ね当初の計画に沿った形で進捗しています。

一方で、利益面につきましては、AI 推進に伴う費用対効果の見直しや、継続的なコスト適正化を推進いたしました。この結果、インターネット関連費の最適化による売上原価の低減に加え、広告宣伝費及び採用教育費等の削減に伴い販売費及び一般管理費が減少いたしました。

第 3 四半期以降におきましても、今後の成長に向けた広告施策と開発体制の強化への積極投資を継続してまいります。これまでの利益ベースの進捗が当初計画を上回っていること等から、通期の各利益項目において当初の予想を上回る見通しとなりました。

これらの結果を踏まえ、2026 年 12 月期通期連結業績予想について、前回発表の予想から営業利益を 150 百万円増加の 550 百万円（従来予想比 37.5%増）、経常利益を 152 百万円増加の 558 百万円（同 37.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益を 100 百万円増加の 366 百万円（同 37.6%増）に上方修正いたします。

(注) 上記内容は、本資料の発表日において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

3. 配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2026年2月13日発表)	—	8.00 円	8.00 円
今回修正予想	—	10.00 円	10.00 円
当期実績 (2026年12月期)	0.00 円	—	—
前期実績 (2025年12月期)	0.00 円	6.00 円	6.00 円

4. 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要指標の1つとして位置付けており、将来の事業拡大と財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的・継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。その方針のもと、配当性向 30%を中長期的な目標として、利益還元を継続的に実施できるよう努めております。

2026年12月期の配当予想につきましては、1株当たり8円としておりましたが、当期の業績動向および財政状態等を総合的に勘案し、株主の皆様へより一層の利益還元を図るべく、1株当たり10円に修正することといたしました。下半期においても事業環境や業績動向を見極めつつ、期末に向けてさらなる株主還元の充実を検討してまいります。

以 上